

大学名	富山大学
------------	------

第69号 特集テーマ「国立大学のこれから」

表題	小学生から社会人まで、地域のデータサイエンス教育を支援
-----------	-----------------------------

取組概要

富山大学は令和3年度から富山県・富山市と連携し、とやまデータサイエンス推進連絡協議会を設置し、1. 学校教育推進、2. 社会人教育推進、3. 産学官金連携事業推進において、地域へのデータサイエンス・DX教育の推進に取り組んでいる。今回は、学校教育推進の特色ある取り組みを中心に紹介する。

学校教育推進では、全ての教科・教育活動がデータサイエンスとつながっていることをガイドブックに示すと共に、様々な場面でのICT活用やデータ収集、分析の機会が与えられるよう支援している。

1) 教員研修支援

- ア. オンラインによる情報発信(オンラインセミナー開催、実践事例動画コンテンツ配信)
- イ. 学校への講師派遣(ICT・DS教育の講演、指導、
高校の探究学習・課題研究の支援、とやま探究フォーラム(発表会)支援) **※写真上**
- ウ. 県・市教育委員会主催の教員研修と連携
- エ. ガイドブックの作成(県内学校教員用ガイドブックの作成・配付)

2) 児童生徒支援(大学院生によるモデル校での教育支援、

児童生徒の海外とのオンライン協働学習支援) **※写真下**

3) 保護者研修支援(ICT教育、DS教育、健康との関連など、地域へ講師を派遣)

小学校の海外とのオンライン協働学習では、児童が国や地域の特産、観光地等をパワーポイント等の資料にまとめ、米国やマレーシアの連携校とSDGsを話題にオンラインで交流する。高校の探究では、生徒自らが興味関心を持つ学校や地域、社会の課題等について、アンケートやデータの収集・分析を行い、その結果をプレゼンテーション資料やポスターにまとめ、年度末にフォーラムで発表を行う。



期待できる成果

社会人教育推進では社会人を対象としたデータサイエンスに関する講座の開講、リカレント教育の推進に、産学官金連携事業推進では県内企業・自治体におけるDXに基づく新たな事業の推進・支援に取り組んでいる。

3つの事業を通じ、児童生徒から社会人、学校や市町村を巻き込み、大学をうまく利活用してもらうことで、県全体でデータサイエンスに適応する力を底上げしたい、つまり、大学と連携したDS人材育成が新しい事業・産業を産み出し、県民の生活レベルを向上させ、富山県全体の発展につながり、ひいては真のウェルビーイングの実現に向かうと考えている。

富山大学データサイエンス推進事業Webサイト <https://dstoyama.adm.u-toyama.ac.jp/>

